

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 姫路獨協大学薬学部 薬理学教室
教授 関 貴弘 先生
2. 演 題 神経変性疾患の治療・予防標的としての
シャペロン介在性オートファジー
3. 日 時 2024 年3月14日(木)16:00~18:00
4. 場 所 M&D タワー11 階 大学院講義室 3
5. 要 旨

シャペロン介在性オートファジー(CMA)は分子シャペロン Hsc70 に認識された細胞質中の基質タンパク質がリソソームに取り込まれて分解を受ける経路です。2004 年にパーキンソン病で蓄積する α -シヌクレインが CMA で分解されることが報告され、CMA と神経変性疾患との関連が注目を集めています。本講義では脊髄小脳失調症(SCA)と CMA に関する研究内容も含め、神経変性疾患と CMA に関する最新の知見を紹介していただきます。

本大学院特別講義は「拡張遺伝暗号技術を利用したシャペロン依存性オートファジーの分子機構の解析」(病態生化学分野 横山三紀)との二部立てで行います。詳しくは下記 URL をご参照ください。

URL: <https://cellular-biochemistry-tmdu.net/20240314jp.pdf>

連絡先: 横山 三紀 (病態生化学分野 内線 5449)